さぁ、答え合わせをしよう！

第7週目 8／31 ⑦弥生時代（やよいじだい）からの出題

1. 弥生時代（やよいじだい）に海を渡ってきた渡来人（とらいじん）は、どこから来たの？

正解：③朝鮮半島（ちょうせんはんとう）

※ココを見てね！▶**調べてみよう～もっと知りたい弥生時代「縄文人（じょうもんじん）と渡来人（とらいじん）」**

弥生時代（やよいじだい）に日本列島（れっとう）と交流（こうりゅう）があったのは、海をへだてた隣（となり）の大陸（たいりく）、朝鮮半島（ちょうせんはんとう）の人たちです。アフリカやハワイはずいぶん遠（とお）い所なので、当時（とうじ）の船（ふね）で行き来することはできませんでした。

2. 弥生時代（やよいじだい）に登場（とうじょう）した墓（はか）は？

正解：②方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ）

※ココを見てね！▶**調べてみよう～もっと知りたい弥生時代「個性（こせい）ゆたかな墓（はか）」**

弥生時代（やよいじだい）のはじめごろからあった、墓のつくりかたです。主に、木でできた棺（ひつぎ）を埋（う）めた場所のまわりに溝（みぞ）を掘（ほ）って、その土を上に盛（も）ってつくっていました。四角い形をしているので「方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ）」と呼（よ）んでいますが、円形のものもあって、それは「円形周溝墓（えんけいしゅうこうぼ）」と呼（よ）んでいます。弥生時代後期（やよいじだいこうき）から終末期（しゅうまつき）になると、これらが大規模（だいきぼ）になった「墳丘墓（ふんきゅうぼ）」がつくられます。これは有力者（ゆうりょくしゃ）の墓（はか）と考えられる、のちの「古墳（こふん）」につながるものでした。

3. 弥生時代（やよいじだい）の人たちは米を何で炊（た）いていた？

正解：③土器（どき）

※ココを見てね！▶**調べてみよう～ 時代の流れ 縄文時代② 自然の恵みをいただいて、生きる**
時代の流れ 古墳時代④ 人々の暮らし ほか

縄文時代（じょうもんじだい）に土器（どき）が発明（はつめい）されて以来、煮炊（にた）きには土器（どき）が使われました。米が伝わってきてもそれは変わりません。今でも土鍋（どなべ）を使ってご飯を炊（た）いたりしますよね。「かまど」が日本に伝わってきたのは、古墳時代中期（こふんじだいちゅうき／5 世紀ごろ）になります。

4. 弥生時代（やよいじだい）のマツリに使われた銅鐸（どうたく）を鳴らすのに使ったのは？

正解：③舌（ぜつ） ※ココを見てね！▶**調べてみよう～もっと知りたい弥生時代「青銅器（せいどうき）の祭り」イラスト**

古い時代の「銅鐸（どうたく）」には、中に「舌（ぜつ）」という振（ふ）り子のようなものをヒモでぶら下げてあり、ベルのように振（ふ）って鳴らしていました。金属（きんぞく）の音は当時（とうじ）の人々が聞いたことがない音でした。「銅鐸（どうたく）」は、だんだんと大きなものがつくられるようになり、見せることが重視（じゅうし）されたためか、ぶら下げて鳴らすことはなくなったようです。

5. 卑弥呼（ひみこ）のことが書かれた書物（しょもつ）は？

正解：③『魏志』倭人伝（ぎしわじんでん）

※ココを見てね！▶**調べてみよう～もっと知りたい弥生時代「卑弥呼（ひみこ）のこと」**

倭国（わこく）の女王（じょおう）として「卑弥呼（ひみこ）」のことが書かれた書物（しょもつ）は、**『魏志』倭人伝**（ぎしわじんでん）ですね。これは、当時（とうじ）の日本列島（れっとう）の地理（ちり）や倭人（わじん）の特徴（とくちょう）などについて書かれたもので、中国（ちゅうごく）の歴史書（れきししょ）『三国志（さんごくし）』の中の「魏書（ぎしょ）」のさらにその中の一部の略称（りゃくしょう）です。ちなみに、『日本書紀（にほんしょき）』は、奈良時代（ならじだい）に書かれた日本の歴史書（れきししょ）です。『竹取物語（たけとりものがたり）』は、平安時代初期（へいあんじだいしょき）に書かれた日本の物語（ものがたり）＝別名『かぐや姫（ひめ）』として、広く親（した）しまれていますね。